

■公益社団法人日本補綴歯科学会 第135回学術大会

■メインテーマ

補綴の力 ― 知と技術の継承と創造する未来 ―

■メインシンポジウム（専門医研修単位認定対象セッション）

6月20日（土） 第1会場 15:50～17:50

補綴歯科の伝統を継承する

座長：大久保力廣（鶴見大）

藤澤 政紀（明海大）

シンポジスト：石橋 寛二（岩手医大）

阿部 實（西関東支部）

村岡 秀明（東関東支部）

小宮山彌太郎（東京支部）

補綴歯科の歴史を築いたレジェンドといえる先生方をお招きし、「補綴の力」を改めてお伝えいただく。クラウンブリッジ補綴学、全部床義歯補綴学、部分床義歯補綴学、インプラント補綴学の各視点から、補綴歯科で最も大切なこと、守るべき基本をご教示いただき、若手に期待する挑戦についてもご講演いただく予定である。
(座長 大久保力廣, 藤澤政紀)

■海外講演

6月20日（土） 第3会場 14:50～15:40

インプラント補綴装置の適合性を最適化するための戦略

座長：金澤 学（科学大）

講師：Vygandas Rutkunas（Vilnius University）

インプラント治療の成功のためには、補綴装置の良好な適合を得ることが極めて重要である。本講演では、リトアニアより the European Prosthodontic Association (EPA) の元プレジデントである Vygandas Rutkunas 先生をお招きし、より適合性の高いインプラント補綴を実現するための治療計画や臨床技術についてご紹介いただく。デジタルワークフローが広く導入されつつあるなかで、適合を最適化するための戦略や、アバットメントの種類・材料選択が適合に及ぼす影響について、基礎研究および臨床研究の結果を交えて議論する。
(座長 金澤 学)

■シンポジウム 1

日本磁気歯科学会 共催

6月20日(土) 第1会場 9:00～10:20

保険収載された磁性アタッチメントの現在地と未来への展望

座長：武部 純（愛院大）

田中 譲治（東関東支部）

シンポジスト：永田 和裕（関越支部）

高橋 正敏（北医療大）

石田 雄一（徳島大）

磁性アタッチメントは1992年に有床義歯の支台装置として開発・臨床応用され、2021年には歯科保険診療に収載された。磁力という特性を生かし、超高齢社会に寄与する有用性と魅力を備えた可撤性支台装置である。本シンポジウムでは、日本磁気歯科学会が実施する予後調査と臨床から見える現状、新たな磁性アタッチメントの開発動向と最新知見、そして将来展望について講演いただく。

（座長 武部 純，田中譲治）

■シンポジウム 2（医療問題検討委員会）

6月20日(土) 第1会場 10:30～11:50

CAD/CAM ブリッジの現状と展望

座長：會田 英紀（北医療大）

柏木 宏介（大歯大）

シンポジスト：新谷 明一（日歯大）

末瀬 一彦（関西支部／大歯大）

疋田 一洋（北医療大）

小川 匠（鶴見大）

現在、メタルフリーブリッジとしては高強度硬質レジンブリッジが保険収載されているものの、適応症例が限られており、加えて技工作業も煩雑であるため、広く普及するには至っていない。本シンポジウムでは、「コンポジットレジンを用いた3ユニットCAD/CAMブリッジの具備すべき機械的性質要件に関する基本的な考え方」の解説に加え、代表的なCAD/CAMブリッジを紹介していただき、本技術の臨床的価値と今後の展望を明確にしたうえで、保険収載に向けた本学会としての今後の対応について議論を深めたい。

（座長 會田英紀，柏木宏介）

■シンポジウム 3

6月20日（土） 第1会場 13:50～14:40

ノンメタルクラスプデンチャーの現在地：臨床と基礎研究が示す新たな展望

座長：伊藤 誠康（日大松戸）

大山 哲生（日本大）

シンポジスト：谷田部 優（東京支部）

濱中 一平（福歯大）

ノンメタルクラスプデンチャーは、日本補綴歯科学会にて2013年にポジションペーパーが発表され学術的な裏付けをもって本格的に臨床応用が開始されました。その後2018年第127回学術大会および2022年補綴歯科専門医研修会でも継続して取り上げられた補綴歯科として必ず習得しておくべき知識と技術となりつつあります。前回から4年を経過しまして今回は本大会にてノンメタルクラスプデンチャーの現在地を分かち合いたいと考え、本企画を立案いたしました。

（座長 伊藤誠康，大山哲生）

■シンポジウム 4（医療問題検討委員会）

特定非営利活動法人 日本顎咬合学会 共催

6月20日（土） 第1会場 14:50～15:40

このままで良いのか？医療保険における補綴診療！

～持続可能な制度構築をめざして～

座長：大久保力廣（鶴見大）

金沢 紘史（日本顎咬合学会）

シンポジスト：末瀬 一彦（関西支部／大歯大）

猪原 健（中国・四国支部）

我が国の保険診療システムの下では、学会の推奨する学術に裏打ちされたクオリティーの高い補綴歯科治療を国民に提供することが困難だけではなく、私たちの大切なパートナーである歯科技工士の収入、環境も改善することはできないと考える。この現状を打破するために学会は何をすれば良いのだろうか？現制度の限界を共有し、公的保険を最低保証としつつ高品質選択肢を認める持続可能な新たな制度について考えてみたい。

（座長 大久保力廣，金沢紘史）

■シンポジウム 5

6月20日（土） 第2会場 15：50～17：50

補綴前処置を極める

座長：萩原 芳幸（日本大）

和田 誠大（大阪大）

シンポジスト：新名主耕平（東京支部）

菊池 毅（朝日大）

犬伏 俊博（大阪大）

和田淳一郎（科学大）

補綴歯科治療の成否と長期にわたる安定を得るためには、最終補綴装置の設計や材料選択のみならず、補綴介入前に口腔内環境をいかに整備するかに大きく左右される。本シンポジウムでは、口腔外科、歯周、矯正、補綴の各専門的視点から補綴前処置を俯瞰し、その適応、限界、および治療介入の考え方を整理することで、補綴歯科治療の予知性向上に資する実践的知見を紹介いただき、皆様と共有したいと思います。

（座長 萩原芳幸，和田誠大）

■シンポジウム 6

一般社団法人 日本栄養治療学会 共催

6月20日（土） 第3会場 9：00～10：20

補綴治療と栄養治療による栄養改善 ―連携と将来展望―

座長：隅田 由香（日歯大）

光永 幸代（横浜市立大）

シンポジスト：上田 貴之（東歯大）

池邊 一典（大阪大）

石井 良昌（日大松戸）

超高齢社会において、口腔機能の回復を基盤とした「食べる力」と栄養の重要性が高まり、補綴歯科治療と栄養治療の両軸による栄養状態の向上への寄与が期待される。本シンポジウムでは、歯科治療と栄養治療との関係を整理し、演者それぞれの取り組みの現状と課題、今後の学会間協働の可能性について多角的に検討する。

（座長 隅田由香，光永幸代）

■シンポジウム 7

6月20日（土） 第3会場 10：30～11：50

同一口腔内における天然歯とインプラント体の混在を考察する

座長：小山 重人（東北大）

梅原 一浩（東北・北海道支部）

シンポジスト：神野 洋平（九州大）

中居 伸行（東北大／長崎大／関西支部）

向坊 太郎（九歯大）

インプラント治療が広く普及した現在、天然歯とインプラント体が同一口腔内に混在する患者は確実に増加している。インプラント治療後に欠損範囲がさらに拡大した場合には、再治療計画の立案や実行に難渋することも多い。また、入念な経過観察を行っていても、咬合の不調和や新たな欠損の発生は避けられないことも少なくない。本シンポジウムでは、混在によって生じる臨床的事象を整理し、咬合の経時的変化、可撤性補綴装置を含む補綴設計、ならびに終末歯列を見据えた欠損拡大を防ぐための戦略、そして発生時に選択し得る対応オプションについて多角的に議論する機会としたい。

（座長 小山重人，梅原一浩）

■シンポジウム 8（研究企画推進委員会）

6月20日（土） 第3会場 13：50～14：40

リアルワールドデータを活用した研究の実践を学ぶ

座長：笛木 賢治（科学大）

シンポジスト：平川 晃弘（科学大）

河野 英子（国立健康危機管理研究機構）

近年、病院の診療記録やレセプト情報、ナショナルデータベースなどに代表されるリアルワールドデータ（RWD）の研究への利活用が、医療分野全体で注目を集めている。補綴学会では過去2回の学術大会で、RWDを活用した歯科研究に関する知見を共有してきた。本シンポジウムでは、これまでの知見を踏まえ、より実践的な視点からRWDの具体的な活用法や分析手法に焦点を当て、今後の歯科補綴研究におけるRWD研究の推進につなげることを目的とする。

（座長 笛木賢治）

■シンポジウム 9

6月20日(土) 第3会場 15:50～17:50

保険収載！3次元プリント有床義歯を知る

座長：金澤 学(科学大)

玉置 勝司(神歯大)

シンポジスト：小島 規永(愛院大)

新保 秀仁(鶴見大)

岩城麻衣子(科学大)

竜 正大(東歯大)

2025年12月に3次元プリント有床義歯が保険収載され、デジタルデンチャーは特別な技術から日常臨床の選択肢へと位置づけが変わることとなった。本シンポジウムでは、保険収載に至った背景や制度上の位置づけを整理するとともに、印象採得・咬合採得・試適といった臨床ステップ、設計・造形を含む技工作業や修理・メンテナンス、さらに臨床エビデンスについて多角的に解説する。3次元プリント有床義歯を保険診療下で安全かつ適切に活用するための理解を深めることを目的とする。

(座長 金澤 学, 玉置勝司)

■シンポジウム 10

一般社団法人 日本デジタル歯科学会 共催

6月21日(日) 第1会場 9:00～10:20

補綴を進化させたデジタル技術 その現状と近未来

座長：疋田 一洋(北医療大)

小峰 太(日本大)

シンポジスト：星 憲幸(神歯大)

近藤 尚知(愛院大)

鈴木 恭典(鶴見大)

昨今のデジタル歯科技術の発展・普及はめざましいものがあり、その恩恵は補綴歯科分野にも大きな変革をもたらしている。そこで本シンポジウムでは、補綴歯科分野をクラウンブリッジ、インプラント、義歯の三つの領域に大別し、それぞれの領域においてこれまでデジタル技術がどのような変革をもたらしてきたのか、そして近未来ではどのような変革が期待されているかをご講演いただく。

(座長 疋田一洋, 小峰 太)

■シンポジウム 11

日本臨床歯科学会 共催

6月21日(日) 第1会場 10:30～11:50

審美と機能の高次元での両立を目指して

— 咬合・生体力学とデジタル技術が拓く補綴治療の未来 —

座長：馬場 一美（昭和医大）

中村 茂人（日本臨床歯科学会）

シンポジスト：吉木雄一郎（日本臨床歯科学会）

木林 博之（関西支部／大阪大）

重田 優子（鶴見大）

デジタル技術と歯科材料の進歩により、補綴治療は審美性と機能性の双方を高水準で実現できる時代となった。本シンポジウムでは、日本臨床歯科学会（SJCD）との共催のもと、咬合生体力学的視点に基づく合理的設計を軸に、デジタル解析技術や低侵襲補綴治療のエビデンスを通して、長期安定性を見据えた患者中心の補綴治療の在り方を探る。

（座長 馬場一美，中村茂人）

■シンポジウム 12

一般社団法人 日本顎関節学会 共催

6月21日(日) 第2会場 9:00～10:20

顎関節症治療の現在 — 基本治療から専門治療まで —

座長：松香 芳三（徳島大）

小見山 道（日大松戸）

シンポジスト：水口 一（岡山大）

山口 賀大（愛院大）

小見山 道（日大松戸）

補綴歯科専門医の専門性担保のために経験すべき難症例の病態の一つに「顎機能障害（顎関節症）」があり、「症状に応じた口腔内装置の製作や装着」や「口腔内装置の咬合接触状態などを診断できること」が専門性の高い臨床技能として挙げられている。今回、日本顎関節学会による「顎関節症治療の指針」および「顎関節症初期治療診療ガイドライン 2023 改訂版」の紹介とともに顎関節症のリフレッシュとアップデートを提供する。

（座長 松香芳三，小見山 道）

■シンポジウム 13

6月21日(日) 第2会場 10:30～11:50

安定した咬合とは何か

— 動的な観点から咬合支持の在り方を再考する —

座長：山口 泰彦（北海道大）

小川 徹（東北大）

シンポジスト：平場 勝成（愛院大）

水橋 史（日歯大新潟）

山口 泰彦（北海道大）

適正な咬合状態の維持・構築は、補綴治療はもとより歯科全般における本質的な課題である。しかし、その最も基本的な要素である咬合の安定性についてさえ、十分な理解は得られているとはいえない。本シンポジウムでは、これまで議論が十分ではなかった動的な観点から、咬合力が加わった状態での下顎変位を勘案して、咬合支持の状態が生体（顎関節や咀嚼筋）に及ぼす影響を検討し、安定した咬合に関する理解と臨床での実践の広がりへとつなげたい。

（座長 山口泰彦，小川 徹）

■シンポジウム 14

6月21日(日) 第3会場 9:00～10:20

脳まで変える！口腔リハの NEXT ステージ

座長：飯田 崇（日本大）

小林 琢也（岩手医大）

シンポジスト：松原 貴子（神戸学院大）

真柄 仁（新潟大）

補綴歯科治療の目的の一つとして顎口腔機能の回復が挙げられる。咀嚼機能，嚥下機能，疼痛制御の回復に関するエビデンスが欠如しているなかで，口腔リハビリテーションに関する中枢からの検討は有用な知見になると考えられる。本シンポジウムでは咀嚼機能，嚥下機能，疼痛制御に関する中枢からの検討について解説を行い，新たな口腔リハビリテーションの構築を提案したい。

（座長 飯田 崇，小林琢也）

■シンポジウム 15

6月21日（日） 第3会場 10:30～11:50

バイオインフォマティクスから紐解く骨疾患と組織再生

座長：黒嶋伸一郎（北海道大）

秋山謙太郎（岡山大）

シンポジスト：大野 充昭（岡山大）

岡田 寛之（東京大）

近年、骨疾患の分子機構や再生医療の理解は急速に進展しており、膨大な情報を統合的に解析するには、ゲノム解析やプロテオミクス解析をはじめとするバイオインフォマティクス技術の活用が不可欠となっている。

本セッションでは、骨疾患の発症機序や組織再生におけるバイオインフォマティクス応用の最前線を共有し、データ駆動型研究の方法論に加え、基礎研究から実臨床への応用展開の可能性についても議論したい。

（座長 黒嶋伸一郎，秋山謙太郎）

■シンポジウム 16（診療ガイドライン委員会）

6月21日（日） 第3会場 13:50～14:50

歯科訪問診療における補綴歯科診療に関する臨床指針の作成

座長：澤瀬 隆（長崎大）

猪越 正直（科学大）

シンポジスト：吉川 峰加（広島大）

服部 佳功（東北大）

超高齢社会の進行とともに、後期高齢者の歯科受療率低下が報告されている。通院困難な歯科有訴者への対応は訪問診療に委ねられるものの、明確な治療指針は不足している。そこで診療ガイドライン委員会では、前期より継続して「歯科訪問診療における補綴歯科診療に関する臨床指針の作成」に取り組んでいる。本シンポジウムでは同治療指針作成の進捗について報告する。

（座長 澤瀬 隆，猪越正直）

■日本学術会議 公開シンポジウム

日本学術会議 共催
日本生命科学アカデミー 後援

6月21日(日) 第4会場 13:50～15:50

脳と摂食嚥下のクロストーク ～健康長寿社会実現に向けた未来への道標～

座長：馬場 一美（昭和医大）

松山 美和（徳島大）

シンポジスト：笛木 賢治（科学大）

後藤多津子（東歯大）

池田 学（大阪精神医療センター）

適切な口腔健康管理は、全人的な健康を支える基盤として健康長寿社会を実現する鍵となる。日本学術会議の「マスタープラン2020」では、口腔と全身の連関を解明する戦略プロジェクトが提示された。近年、医科歯科連携が進展する一方で、「脳と摂食嚥下のクロストーク」の全容解明は依然として大きな挑戦である。本シンポジウムでは、日本補綴歯科学会と日本学術会議が共催し、基礎・臨床の最前線で活躍する専門家を招聘する。最新知見を共有し、総合討論を通じて健康長寿に向けた未来の道標を導き出したい。

（コーディネーター 江草 宏）

■専門医研修会（専門医研修単位認定対象セッション）

6月21日(日) 第1会場 13:50～15:50

咬合（下顎位）を可視化する

座長：鮎川 保則（九州大）

正木 千尋（九歯大）

講師：古谷野 潔（九州大）

渡辺 隆史（日本顎咬合学会／小滝歯科医院）

窪木 拓男（岡山大）

咬合の不調和や違和感を伴う症例では、適切な下顎位が定まらず治療目標が設定しにくい、難症例となることが少なくない。専門医制度が広告可能となった現在、下顎位を“可視化”して把握するための診査・診断を再認識することは極めて重要である。本セッションでは、3名のエキスパートの先生方に、下顎位決定に必要な検査方法と診断の要点についてご講演いただく。

（座長 鮎川保則，正木千尋）

■委員会セミナー 1（修練医・認定医・専門医制度委員会）

6月20日（土） 第2会場 13：50～14：40

補綴歯科専門医の取得について

講師：鮎川 保則（九州大）

■委員会セミナー 2（編集委員会）

6月20日（土） 第2会場 14：50～15：40

質の高い症例報告を作る ― 構成・評価・考察の実践ガイド

座長：前川 賢治（大歯大）

田坂 彰規（東歯大）

講師：村上 和裕（新潟大）

三野 卓哉（大歯大）

原田 佳枝（長崎大）

症例報告論文は、臨床で得た知見を学術として共有し、治療判断の妥当性を検証可能な形で残すために重要である。本セミナーでは、緒言における新規性と論点の提示法、症例提示で経過を再現性高く伝えるための情報選択と構成を解説する。さらに、多面的評価と患者報告アウトカム、デジタル評価を踏まえた考察の深め方を扱う。加えて、査読で問われる観点、倫理、図表作成の要点を臨床家の視点で整理し、投稿に直結する実践知へつなげる。

（座長 前川賢治，田坂彰規）

■臨床スキルアップセミナー 1

6月20日(土) 第2会場 9:00～10:20

若手のためになる臨床 Tips (クラウンブリッジ・インプラント・接着)

座長：木本 克彦(神歯大)

荻野洋一郎(九州大)

講師：柏木 宏介(大歯大)

今 一裕(岩手医大)

猪越 正直(科学大)

本セミナーでは、補綴歯科治療、インプラント治療をより確実に実践するための最新知識と実践的指針について3名の先生にご講演いただく。特に、口腔内スキャナーやナビゲーションシステムを含む歯科治療のワークフローや、口腔内だけでなく顔貌を含めた審美情報の記録とそれを臨床に生かすための手法について体系的に整理する。さらに、CAD/CAMを用いた材料、特にジルコニアなどのメタルフリーのための材料の特性と接着技法を材料科学の視点から整理し、長期予後を高める臨床術式について最新の知見を整理する場としたい。

(座長 木本克彦, 荻野洋一郎)

■臨床スキルアップセミナー 2

6月20日(土) 第2会場 10:30～11:50

若手のためになる臨床 Tips (有床義歯・睡眠・顎機能)

座長：尾澤 昌悟(愛院大)

都築 尊(福歯大)

講師：渡邊 恵(徳島大)

猪子 芳美(日歯大新潟)

小川 徹(東北大)

補綴歯科専門医資格に国民が寄せる期待は大きい。一方で多岐にわたる領域を含む歯科補綴領域の生涯学習のためには、補綴歯科専門医を目指す若手歯科医師にとって中間目標が必要と考えられる。本セミナーでは、基本的な診査・診断に基づいた義歯設計、オクルーザルアプライアンス、顎機能にフォーカスをあて、補綴歯科専門医を目指す若手歯科医師に明日から役に立つ臨床 Tips についてご講演いただく。

(座長 尾澤昌悟, 都築 尊)

■歯科衛生士セッション

公益社団法人 日本歯科衛生士会 共催

6月21日(日) 第3会場 14:50～15:50

歯科衛生士のためのリカレント教育とリスクリング：補綴臨床アップデート

座長：依田 信裕（東北大）

岡田 昌子（日本歯科衛生士会）

講師：島田 明子（大歯大）

黒江 敏史（東北・北海道支部）

歯科衛生士の復職支援や離職防止を目的とした人材確保事業が進むなか、臨床の高度化や社会構造の変化に伴い、歯科衛生士には生涯的なリカレント教育とリスクリングが求められている。本セッションでは、歯科衛生士研修センターにおける教育体制と人材育成の視点、さらに NCCL（非齲蝕性歯頸部欠損）の最新知見に基づく生活習慣指導や臨床対応を取り上げ、補綴歯科医が歯科衛生士とともに果たすべき役割を多角的に考察する。

（座長 依田信裕，岡田昌子）

■臨床コンペティション（歯科技工士セッション併催）

一般社団法人 日本歯科技工学会 共催

6月21日(日) 第2会場 13:50～15:50

アクティブシニアに向けた補綴治療

座長：新保 秀仁（鶴見大）

秋山謙太郎（岡山大）

山谷 雄一（科学大）

発表者：早川 順満（西関東支部）・藤田 良磨（東北・北海道支部）

小池 一幸（徳島大）・西口 翔太（徳島大）

鈴木 銀河（鶴見大）・原田 直彦（鶴見大）

栗原 崇實（大歯大）・奥森 健史（関西支部）

池田 欣希（東北・北海道支部）・工藤 耕輔（東北・北海道支部）

野代 知孝（九歯大）・野林 勝司（九州支部）

超高齢社会の現在、仕事や趣味などに意欲的で健康意識が高い、「アクティブシニア」が増加している。失われた口腔機能や審美性を回復する補綴治療は、アクティブシニアの生活の質と社会参加を支える重要な歯科医療である。本セッションでは、歯科医師と歯科技工士が緊密に連携し、精密な検査・診断の基づく治療計画、創意工夫を活かした補綴設計、さらにはそれを具現化する匠の技による治療成果を発表していただく。

（座長 新保秀仁，秋山謙太郎，山谷雄一）

■日本歯科専門医機構認定共通研修 1

6月19日（金） 第2会場 14：20～15：20

臨床医学の実践および医学系研究に求められる医療倫理（①医療倫理 1単位）

司会：石田 雄一（徳島大）

講師：吉村 弘（徳島大）

■日本歯科専門医機構認定共通研修 2

6月19日（金） 第2会場 15：40～16：40

歯科補綴治療の価値と近未来（⑤医療関連法規・医療経済 1単位）

司会：羽鳥 弘毅（奥羽大）

講師：赤司 征大（WHITE CROSS 株式会社）

■イブニングセッション 1

6月19日（金） 第1会場 17：00～18：00

臨床研究を設計する：支援の連鎖が生む成功の条件

コーディネーター：下村 侑司（岡山大）

発表者：下村 侑司（岡山大）

稲用 友佳（科学大）

豆野 智昭（大阪大）

■イブニングセッション 2

6月19日（金） 第2会場 17：00～18：00

デジタル技術を基盤とした補綴歯科治療テクニック ～繋ごう、症例報告へ～

コーディネーター：近藤 威（東北大）

発表者：岩内洋太郎（昭和医大）

近藤 威（東北大）

今井実喜生（九州大）

■イブニングセッション 3

6月19日（金） 第3会場 17：00～18：00

咬合が支える身体機能

— ライフコース（小児・青年・高齢期）の視点から —

コーディネーター：大木 郷資（九州大）

発表者：田邊 元（明海大）

芳賀 秀郷（昭和医大）

大木 郷資（九州大）

■イブニングセッション 4

6月19日（金） 第4会場 17：00～18：00

検証する！ドイツ RBFDPs は次世代の補綴装置となり得るのか？

コーディネーター：大川 友成（九州大）

発表者：長嶺 憲作（東北・北海道支部）

寺尾 陽一（東海支部）

森 圭右（東海支部）

■イブニングセッション 5

6月20日（土） 第1会場 18：00～19：00

欠損拡大を防ぐための補綴治療

— 欠損拡大の分岐点から考える補綴装置の選択 —

コーディネーター：辻岡 義崇（大阪大）

発表者：辻岡 義崇（大阪大）

白井 麻衣（鶴見大）

■イブニングセッション6

6月20日（土） 第2会場 18：00～19：00

義歯洗浄・清掃のエビデンスと現在地

— 材料多様化時代における義歯ケアを再考する —

コーディネーター：原田 佳枝（長崎大）

発表者：竜 正大（東歯大）

堀之内玲耶（鹿児島大）

原田 佳枝（長崎大）

藤本けい子（徳島大）

■イブニングセッション7

6月20日（土） 第3会場 18：00～19：00

食支援の視点から補綴臨床を捉える

～管理栄養士から学ぶ実践のヒント～

コーディネーター：吉村 将悟（新潟大）

長谷川陽子（新潟大）

発表者：筒浦さとみ（新潟大）

佐藤 清香（静岡社会健康医学大）

矢治 早加（医療法人社団明正会）

■イブニングセッション8

6月20日（土） 第4会場 18：00～19：00

口腔内スキャナーによる光学印象採得の課題とその対応策

コーディネーター：深澤 翔太（岩手医大）

発表者：木原 琢也（鶴見大）

大黒 英莉（愛院大）

清水 延浩（東歯大）

芦田 圭介（昭和医大）

■ハンズオンセミナー 1

6月19日（金） 第5会場 14：30～18：00

インプラント周囲炎の診断と外科的療法をマスターする ～切除療法と再建療法の実践

講師：中居 伸行（関西支部／長崎大）

協賛：株式会社フォレスト・ワン，ガイストリッヒファーマージャパン株式会社，
株式会社茂久田商会，ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社

■ハンズオンセミナー 2

6月19日（金） 第6会場 14：30～15：50

第6会場 16：10～17：30

内視鏡による嚥下機能評価

講師：玉田 泰嗣（北海道大）

協賛：日本ライトサービス株式会社

■ハンズオンセミナー 3

6月20日（土） 第5会場 10：40～12：40

口腔内スキャナー・ハンズオン I ーベーシック・コースー

講師：馬場 一美（昭和医大）

近藤 尚知（愛院大）

今 一裕（岩手医大）

深澤 翔太（岩手医大）

高藤 恭子（愛院大）

大黒 英莉（愛院大）

岩内洋太郎（昭和医大）

芦田 圭介（昭和医大）

協賛：デンツプライシロナ株式会社，ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社，
インビザライン・ジャパン合同会社，ストローマン・ジャパン株式会社，
3Shape Japan 合同会社，株式会社ジーシー，株式会社ヨシダ，株式会社モリタ

■ハンズオンセミナー 4

6月20日（土） 第5会場 14：00～16：00

口腔内スキャナー・ハンズオンⅡ —アドバンス—

講師：近藤 尚知（愛院大）
馬場 一美（昭和医大）
深澤 翔太（岩手医大）
今 一裕（岩手医大）
高藤 恭子（愛院大）
大黒 英莉（愛院大）
岩内洋太郎（昭和医大）
芦田 圭介（昭和医大）

協賛：デンツプライシロナ株式会社，ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社，
インビザライン・ジャパン合同会社，ストローマン・ジャパン株式会社，
3Shape Japan 合同会社，株式会社ジーシー，株式会社ヨシダ，株式会社モリタ

■ハンズオンセミナー 5

6月20日（土） 第6会場 10：40～12：10

磁性アタッチメントを習得する ～技工操作から取り付けまで～

講師：栗原 大介（鶴見大）
協賛：株式会社モリタ，株式会社ケディカ

■ハンズオンセミナー 6

一般社団法人 日本老年歯科医学会 共催
6月20日（土） 第6会場 14：00～15：30

補綴治療を支える口腔機能低下症の検査と管理

講師：古屋 純一（昭和医大）
大澤淡紅子（昭和医大）
協賛：株式会社ジーシー，株式会社ヨシダ

■ハンズオンセミナー 7

6月21日（日） 第5会場 9：00～12：00

包括的補綴歯科治療に必須なペリオドンタルプラスチックサージェリー

講師：小田 師巳（岡山大）

園山 亘（岡山大）

協賛：株式会社松風，クインテッセンス出版株式会社

■ハンズオンセミナー 8

6月21日（日） 第6会場 9：30～11：30

接着ブリッジを正しく理解し，より有効に活用する

講師：大谷 一紀（東京支部）

協賛：株式会社ジーシー

■ランチョンセミナー 1

6月20日（土） 第1会場 12：10～13：00

補綴歯科臨床におけるデジタルワークフローの現在と展望

講師：近藤 尚和（愛院大）

協賛：インビザライン・ジャパン合同会社

■ランチョンセミナー 2

6月20日（土） 第2会場 12：10～13：00

～不要から戦略的活用へ～ 専門医が義歯安定剤の使用を勧める場合とは

講師：松田 謙一（ハイライフ大阪梅田歯科医院／関西支部）

協賛：Haleon ジャパン株式会社

■ランチョンセミナー 3

6月20日（土） 第3会場 12：10～13：00

STREAK- I ；麻酔も投薬もなくせる未体験ゾーンのレーザー治療機器の紹介

座長：佐久間重光（愛院大）

講師：矢島 孝浩（やじま歯科医院）

協賛：株式会社アブソルート

■ランチョンセミナー 4

6月20日（土） 第4会場 12：10～13：00

Smilecloud 3DNA 初期導入から臨床応用へのステップ

講師：相岡 宣好（すぎおか歯科クリニック）

協賛：ストロマン・ジャパン株式会社

■ランチョンセミナー 5

6月21日（日） 第1会場 12：10～13：00

歯科医療の進化を支える 3D プリンター

— 実践的アプローチ —

講師：吉田 茂治（パークサイドデンタルオフィス）

協賛：株式会社ヨシダ

■ランチョンセミナー 6

6月21日（日） 第2会場 12：10～13：00

モリタ DX の新提案「Accuios から始まるデジタル連携」

座長：田中 豊（株式会社モリタ）

講師：北道 敏行（きたみち歯科医院）

協賛：株式会社モリタ

■ランチョンセミナー 7

6月21日（日） 第3会場 12:10～13:00

補綴の力で診る口腔機能低下症 — 口腔機能検査の補綴治療への活かし方 —

講師：上田 貴之（東歯大）

協賛：株式会社ジーシー

■ランチョンセミナー 8

6月21日（日） 第4会場 12:10～13:00

配向型インプラント FINESIA® の科学的情報と骨質劣化症例への治療戦略

座長：澤瀬 隆（長崎大）

講師：黒嶋伸一郎（北海道大）

協賛：京セラメディカル株式会社

■市民フォーラム 2026

6月21日（日） 第4会場 13:10～13:40

もう悩まない！入れ歯との上手な付き合い方

座長：西村 正宏（大阪大）

講師：木本 統（愛院大）

後援：Haleon ジャパン株式会社

歯科医療はさまざまな進歩を遂げてきましたが、「入れ歯」は今もなお、多くの方の食事や会話、そして日々の生活を支える大切な治療法です。特に高齢化が進むなかで、義歯を快適に使い続けることは、健康でいきいきとした生活につながります。

本フォーラムでは、義歯をお使いの方やそのご家族、介護に携わる皆さまを対象に、義歯の基本的な知識

正しい使い方やお手入れの方法

よくあるトラブルとその対処法

などを、実際の例を交えながらわかりやすくご紹介します。

「少し合わない気がする」「お手入れはこれでいいの？」といった日頃の疑問を解消し、明日からすぐに実践できる義歯との上手な付き合い方を学んでいただける内容です。

（講師 木本 統）